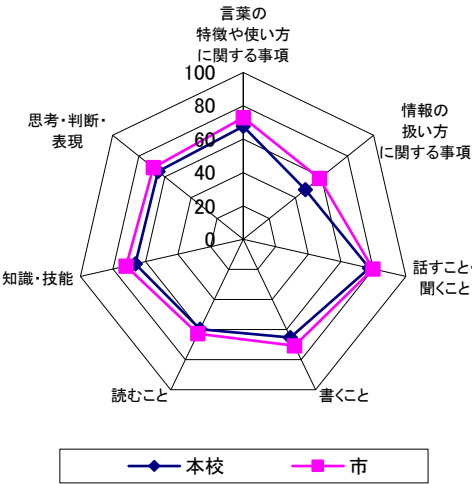


宇都宮市立細谷小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	67.7	73.0	75.5
	情報の扱い方に関する事項	47.7	58.5	59.0
	話すこと・聞くこと	77.5	79.8	75.9
	書くこと	65.3	70.7	71.7
	読むこと	59.7	62.8	62.5
観点別	知識・技能	66.3	72.0	74.4
	思考・判断・表現	65.2	69.0	68.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	●本校の正答率は、67.7%で、市の正答率73.0%を下回った。 ●5・6年生の漢字の読み書きの問題は、5年生の漢字を書くほとんどの項目において、市の平均を大きく下回っている。 ●言葉の学習についての問題では、ほとんどの項目で、市の平均を下回っている。 ●段落を付けて文を書く問題で、市を下回った。	・小学校で習う漢字をプリントやドリルで復習を繰り返し行う。特に、5年生の漢字が身に付くようにする。 ・言葉の学習では、謙譲語や尊敬語などの敬語の使い方を日常的に指導し、普段から場に応じた敬語を意識できるようにしていく。 ・自分の考えを段落を意識して文章に表すことができるよう、指導していく。
情報の扱い方に関する事項	●本校の正答率は、47.7%で、市の正答率58.5%を10.8ポイント下回った。	・提示されている資料の中から、伝えたい内容だけを選んで読み取る練習をしていく必要がある。 ・資料の中の言葉を使いながら、制限された文字数で、伝えたい内容を文章にまとめる練習が必要である。
話すこと・聞くこと	●本校の正答率は、77.5%で市の正答率を2.3ポイント下回った。 ●互いの立場を明確にしながら計画的に話し合い、考えをまとめる問題の正答率は67.4%で、市の正答率を6.3ポイント下回った。	・話し合い活動の中で、話し手が内容を明確にするために、どんな工夫をしているのか、理解を深める必要がある。 ・司会者の話し合い活動での役割を理解し、さらに、計画的な話し合いになるよう、司会以外の児童の意見や考えをまとめられるようにする。 ・意見を聞いて、要約できる、整理して書くことができる力を身に付けられるように指導していく。
書くこと	●本校の正答率は65.3%で、市の正答率を5.4ポイント下回った。 ○考えを明確に伝えるための記述の工夫を捉える問題の正答率は84.8%で、市の正答率を4.9ポイント上回った。 ●情報と情報との関係を理解し、目的に応じて文章を簡単にまとめて書く問題の正答率は47.7%で、市の正答率を10.8ポイント下回った。 ○自分の意見とその理由を明確にして書く問題の正答率は77.3%で、市の正答率を5.1ポイント下回った。	・書くことに慣れるように、普段から指定された長さで書いたり、段落構成を工夫して書いたりして、文章を書く練習を積み重ね、意欲を高められるようにする。また、メモをもとに書く事柄を整理し、理由や根拠を具体的な例を挙げて表現できるように練習していく。 ・物語文のあらすじや説明文の要旨をまとめる練習をし、文章を簡単にまとめて書く力を身に付けられるように指導していく。 ・文章表現については、間違った表現をしていないか、文法は合っているかなど、自分で推敲ができるように指導していく。
読むこと	●本校の正答率は59.7%で、市の正答率3.1ポイント下回った。 ○登場人物の心情について、描写を基に捉える問題では、36.4%で市の正答率1.8ポイント上回った。 ○表現の効果を適切に考える問題では、30.3%で市の正答率8.9ポイント下回った。 ○文章の論の進め方を的確に捉える問題では、56.1%で市の正答率9ポイント下回った。	・物語文の学習では、登場人物の行動や会話文や物語文のポイントとなる表現を場面ごとに確かめ、文全体でその表現の変化を捉えられるようにしていく。また、登場人物の気持ちの変化を読み取る学習を繰り返し展開し、登場人物の心情を読み取れるようにしていく。 ・説明文の学習については、段落ごとに読み取り、段落の関係に図示しながら、文章がどう進んでいるのか、理解を深められるように指導していく。